

若シ失踪ヲ終リタル時即チ失踪者ノ復歸スルカ又ハ消息ヲ通シタル時ニ方リ其無効ヲ訴フルノ權ハ獨リ失踪者ニ屬スルノミナラス凡ソ姦通ニ等シキ不品行ノ所爲ヲ止ムルニ就テ其利益ヲ有スル者ニハ舉テ之ヲ屬スヘシ但シ此婚姻ヲ無効ニ屬シ爲メニ自己及ヒ金圓上ニ管スル利益ノミヲ有スル者ニ在テハ獨リ失踪者ノミ之ヲ訴フルノ權アリトス故ニ失踪者ノ生存中ハ自ラ之ヲ訴フルカ又ハ再婚セシ夫婦ヨリ之ヲ訴フルヲ得ヘシ是レ法律ハ再婚ノ爲メニ生シタル姦通ノ罪ヲシテ其本人ノ本心

ニ戻リ強テ之ヲ存續セシムルカ如キ義務ヲ命スルヲ得サレハナリ又檢官モ之ヲ訴フルヲ得ヘシ是レ檢官ハ道義及ヒ習俗ニ取り斯ノ如キ重大ノ弊害ヲ醸スヘキ行爲ヲ聽ルスヘキニ非サルニ由ル又失踪者ノ死去シタル後ハ何人ニテモ之ヲ取消サシムルヲ得ス他ナシ其死去ニ由リ已ニ姦通ノ罪ヲ消滅スヘケレハナリ即チ之ヲ再言スレハ第三百三十九條ニ示定スル所ノ趣意左ノ如シ曰再婚ヲ無効ニ屬シ爲メニ自己且ツ金圓上ノ利益ノミヲ有スル者ニ在テハ失踪者ノミ

之ヲ訴フルノ權ヲ有スヘシト是ナリ
蓋シ該條ノ編集者ニ在テ目的ト爲ス所ハ失踪者ノ
傍系親ヲシテ此訴訟ヲ爲スノ權域内ニ居ラサラシ
メント欲スルニ在リトス

此說ハ「第一」復歸シタル失踪者ハ特權ヲ有スヘキヲ
假定セシ所ノ法文ニ依據ス抑此訴訟ヲ爲スノ權ヲ
以テ若シ一般ニ其管係者ニ属スルキハ失踪者ノ特
權ハ宛モ已ニ存セサルモノト謂ツヘシ「第二」政府代
辨員ノ演舌ニ依據ス即チビゴ、ブレアム子、氏ノ
言ニ「凡ソ婚姻ハ傍系親ニ於ル金圓上ノ利益ヲ以テ

之ヲ危ウスルヲ得スト又ユゲー氏ノ立法院ニ於テ
セル演說ニ在テハ更ニ詳確ナル意義ヲ以テ前說ヲ
解明セリ

〔第五百〇一〕失踪者ノ配偶者ノ契約シタル再婚ハ失
踪者自ラ其取消ヲ訴フルカ又ハ自己ノ生存スル証
據ヲ與ヘタル名代人ヲシテ之ヲ訴ヘシムルヲ得ヘ
シ

然ルニ此名代人ハ必ス失踪者ノ生存スル證據ヲ帶
有スヘキヲ要スルヤ又ハ之ニ代リテ訴訟ヲ爲シ及
ヒ之カ代理ヲ爲スヘキ爲メ嘗テ失踪者ヨリ附與セ

ラレタルノ証書ヲ以テ其證據ト爲スヲ得ヘキヤ
此事ニ關シテハ二様ノ説明アリ左ノ如シ

〔第五百〇三〕〔第一説明〕法律ニ於テハ失踪者發途前ニ
際シ其諸般ノ事務ヲ管理セシメンカ爲メ預メ名代
人ヲ任スルノ事ヲ假定ス而シテ此名代人ハ必スシモ
失踪者ノ生存スル證據ヲ帶有スルヲ無フシテ其財
産ニ關スル諸般ノ訴訟ヲ行フヲ得ヘシ然レモ其配
耦者ノ契約シタル再婚ヲ取消サントスル訴訟ニ至
テハ現ニ失踪者ノ生存スル證據ヲ立ツルニ非サレ
ハ之ヲ行フヲ得ス

〔第五百〇三〕〔第二説明〕右ニ掲ケタル疑問ハ原來法律
ノ推測ニ係ルニ非ス現ニ失踪者ノ發途ニ臨ミ遺留
セシ所ノ名代人ハ固ヨリ婚姻ノ取消ヲ訴フル爲メ
ノ分限ヲ有セサルヘシ何トナレハ預テ其本人ヨリ
委任セラレタル權限ノ外ハ一モ有スルモノアラサ
ルヲ以テナリ即チ失踪者ハ之ニ其諸務ヲ管理スヘ
キヲ命シタレモ他日其配偶者ノ契約スルヲアルヘ
キ再婚ノ取消ヲ訴フルカ如キ權理ニ至テハ其委任
ノ權内ニ包容セサルヲ明ラケク若シ或ハ然ラサレ
ハ此法律ハ唯失踪思料ノ場合ニノミ適セルモノト

セサルヲ得ス現ニ法律ニ示定セシ所ノ規則ハ此第一期中ニ非サレハ之ヲ適用スヘキモノナラス他ナシ該期限ヲ過クレハ失踪者ノ遺留セシ名代人ノ權理ハ當然消盡スヘキニ因テナリ
然ラハ則更ニ他ノ説明ヲ覓メスンハアラス抑法律ニ於テハ斯ノ如キ婚姻ハ之カ爲メ失踪者ヨリ別ニ其委任狀ヲ受ケ加フルニ其生存ノ證據ヲ帶有スル名代人ヨリ之ヲ訴フルヲ得ヘシトセリ蓋シ委任狀ノミヲ以テハ未タ本人ノ生存ヲ証スルニ足ラサレハナリ現ニ委任ハ單ニ私証書ヲ以テ之ヲ証スルヲ

得ヘシト雖モ失踪者ノ生存ニ至テハ其保証狀ヲ下附スル爲メノ當該官吏ニ在テ手記シタル公証書ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ証スルヲ得ス乃チ左ニ法律ノ真意ヲ示サン

失踪者ノ配偶者ノ契約シタル再婚ノ取消ハ公正ノ証書ヲ以テ失踪者ノ生存ヲ証スル上ニ非サレハ其名代人ヨリ之ヲ訴フルヲ得ス

故ニ失踪者ヨリ其名代人ニ付シタル所ノ委任狀若シ單ニ私証書タルニ過キサレハ別ニ其生存ヲ証スルカ爲メ公正ノ保証狀ヲ携帯セサルヘカラス又公

証書。タレハ其委任ノ權ト生存ノ証トヲ併セテ保證
スルヲ得ヘシトス

〔第五百〇四〕

若シ失踪者ノ遺物相續ヲ爲スヘキ血族

ノアラサルキハ第四百十條其配耦者ハ則チ其最親ノ遺

物相續人タルカ故ニ第七百六十七條第二百十條ニ從ヒ其

財産ノ假有ヲ訴フルヲ得ヘシ

然レモ又此ニ注意スヘキ一事アリ即チ配耦者ノ此

權利ヲ得ンカ爲メニハ單ニ其失踪者カ遺物相續ヲ

爲シ得ヘキ血族ヲ遺留セサルノミヲ以テ足レリト

スヘカラス加フルニ其既ニ認メラレタル私生子モ

亦無キヲ要スルナリ第七百六十七條ニ曰ク該配

耦者ハ血族及ヒ私生子ノ子無キ時ニ非サレハ遺物相

續ヲ爲スヘカラスト以テ明徴ト爲スヘシ蓋シ第百

四十條ニ於テ唯血族トノミ記シタルノ所以ハ該條

編成ノ時ニ當テハ私生子タル者未タ遺物相續ヲ爲

スノ權ヲ有セス現ニ其權利ヲ之ニ授ケシハ遙ニ後

年ノ事ニ係レハナリ第七百五十六條注釋ヲ見ユ

○第四章 父ノ失踪セシ時其遺留セシ幼

者ヲ管督スル事第四百一十一條

〔第五百〇五〕

失踪者ノ遺留セシ幼者ノ管督ハ所謂後

見。ト之ヲ混同スヘカラス凡ソ後見人ハ別ニ管財人
ヲ任セサル可カラサルノミナラヌ第四百八十一條其財産ヲ
支配スル幼者ノ爲メニ自己ノ不動産ヲ書入トセサ
ルヲ得ス第二百一十一條然ルニ本章ニ於テハ更ニ之ニ類
スルヲナク即チ失踪者ノ遺留セシ幼者ノ管督ヲ任
セラレタル其配耦者ノ如キハ別ニ管財人ヲ要セラ
ルヘキモノニ非ス又其財産モ敢テ書入ト爲スニ及
ハサルナリ

〔第五百〇六〕前ニ叙述セシ所ノ管督ヲ要スルヲハ唯
失踪思料ノ際ニ於ルノミ是レ左ノ二項件ニ基由ス

ル所タリ

第一 第四百四十一條及ヒ第四百四十二條ニ於テ用
ヒタル失踪ノ語

第二 失踪公告前ノ事項ニ適用スヘキ第四百四十
二條ノ規則

失踪公告ノ時ニ至レハ假ニ遺物相續ヲ行ヒ且ツ假
ニ後見ヲ置クヘシ故ニ失踪思料ノ期限ヲ出レハ輒
チ直チニ後見ニ管スル一般ノ規則ヲ適用スヘシ

〔第五百〇七〕此章ニ於テハ四個ノ特別ナル場合ヲ推
測シ以テ之ヲ規定セシナリ

〔第五百〇八〕〔第一〕母ノ生存中父ノ失踪スル專

此場合ニ於テハ父ハ法律ニ於テ授ケラレタル其幼年ナル子ノ財産及ヒ身體ニ就テ有スル所ノ權第三百七十三條第三ヲ行フ能ハサレハ則チ當ニ之ニ代ル所ノ母ニ此權ヲ移スヘシ但シ此權ハ夫ノ死亡後婦ニ屬スル權理第三百二十七條ト亦自ラ別アルナリ何トナレハ夫ノ死亡後婦ニ屬スルノ權理ハ其婦寡婦ト爲ルニ非レハ屬スベカラサレ第三百八十一條此ニ謂フ所ノ如キハ其寡婦タル者ニ非サルヲ以テナリ乃チ夫ハ尙生者ト見做サレ未タ其權理ヲ失ハサルカ故ニ婦

〔第五百〇九〕婦ハ夫ノ名代人タルニ過キサレハ夫ノ

ハ唯法律上ニテ任セラレタル名代ノ故ニ由リ夫ノ權理ヲ代行スルニ過キサルノミ然レモ其子ヲ懲治スルノ權ニ至テハ夫ノ名代タル分限アルニ因リ夫ノ死亡後母タル分限ニテ行フヘキ爲メ屬セラレ所ノ權理ノ限域ニ免ルモノト爲ヌヲ得ス第三百七十六條及ヒ第三百八十一條參考則チ婦ハ夫ノ失踪ニ際シテハ其眞ニ死亡セシ時ヨリモ多ク權理ヲ有セサルヲ固ヨリ辨テ須タサルナリ

生存中法律ニ於テ授クル所ノ權理即チ其子ノ十八

歳ニ至リ又十八歳未滿ニテ後見ヲ免ル、ニ至ルマ
 テノ際其子ノ財産ヨリ生セル入額ヲ得ルノ權理ヲ
 有セサルモノタリ第三百八十四條 故ニ其入額ヲ收得スル
 モ畢竟其夫ノ爲メニスルニ外ナラス現ニ失踪ノ思
 料ハ夫ノ權理ヲ全ク保存スルモノナレハ其所有權
 及ヒ利用權ハ共ニ之ヲ保有スルモノタリ且ツ父失
 踪シ其子ノ財産ヲ支配スルノ任ヲ其婦ニ委付シタ
 ルヲ辭柄トシ父ニ屬スルノ權理ヲ剝奪スルハ蓋シ
 不當ノ所爲タルヘシ何トナルニ父ノ其家ニ在ラサ
 ルハ大抵己ムヲ得サルノ情實ニ出ルカ若クハ多少

ノ危険ヲ犯シ其一族ノ利益ヲ營マンカ爲メ或ハ遠
 國ニ留マルヲナキニ非サレハナリ

法律ニ於テハ父ノ存在シテ母ノ失踪シタル場合ハ
 更ニ之ヲ規定セス蓋シ其之ヲ規定セサル所以ハ母
 ノ失踪ハ諸ノ事項ニ於テ更ニ變異ヲ生スヘカラス
 即チ父存在シテ悉ク其權理ヲ保有スレハ何ノ變ヲ
 モ起サ、ルニ因テナリ

〔第五百十〕〔第二〕母ノ死亡後父ノ失踪スル事

「母ノ死亡後父ノ失踪スル時ハ其失踪後六ヶ月ヲ經
 テ親族ノ會議ニ由リ其子ノ管督ヲ其最親ノ尊屬ニ

任スヘシ若シ其最親ノ尊屬在サラルキハ之ヲ假ノ
後見人ニ任スヘシ第四百四十二條

〔六ヶ月ヲ經云々〕此六月間ハ何等ノ事ヲ行フ歟其子
ノ隨意ニ任セサルヤ明カナリ然ラハ則何人カ其管
督ヲ爲スヘキヤ檢官或ハ管係者ノ求メニ從ヒ裁判
所自ラ之ニ任スヘシトス故ニ其子ノ身分ニ屬スル
需用、其教育及ヒ財産ノ支配ニ就テ要スヘキコトアル
ニ當テハ輒チ裁判所ニ於テ之ヲ行フヘシ第四百十二條、第四百十
四條蓋シ法律ハ失踪者ノ失踪後他人ヲシテ直チニ監
督ノ名義ヲ以テ其家務ニ管カラシムルヲ欲セサル

ナリ

〔第五百十一〕失踪後六ヶ月ヲ經テ尙其消息ヲ得サル
キハ親族ノ會議ニ因テ其子ノ管督ヲ其最親ノ尊屬
又ハ假ノ後見人ニ任スヘシ。

〔管督云々〕即チ後見ニ非サルヤ明ケシ〔第五百〇五〕ヲ見ヨ

〔親族會議ニ由リ其最親ノ尊屬ニ任ス云々〕此レ何カ
故ニ第四百〇二條及第四百〇三條ニ於テ定メタル
區別ニ準ヒ後見ノ如ク當然管督ヲ任セサルヤ左ニ
其辨解ヲ示サン
法律ニ於テ預メ後見ヲ示定スルハ蓋シ確然タルノ

方法ニ非ス他ナシ法律ニ於テハ固ト偶然ニ之ヲ示定スルモノダレハ其示定スル所ノ者或ハ其任ニ堪コルヲ能ハサル者ナキニアラサレハナリ然レモ亦此弊害ヲ補フニ足ルヘキモノアリ即チ法律上ノ抵當及ヒ管財人ヲ命シ其幼者ノ利益ヲ注意セシムル是ナリ管督ニ至テハ然ラス抵當及ヒ管財人ノ如ク更ニ其保証アラサルカ故ニ幼者ノ爲メニ其損害ヲ護スヘキモノナシ〔第五百〇五〕チ見ユ故ニ親族會議ニ於テ其尊屬中ニテ最モ信任スルニ足ルヘキ者ヲ撰ミ以テ之ヲ任スルハ理ノ當ニ然ルヘキ所ナリ

若シ尊屬ノ在ラサルキハ親族會議ニ因テ之ヲ其假ノ後見人ニ任ス可シ但シ此後見人ニ在テハ其任セラレタル管督ハ即チ眞ノ後見ヲ組成スルモノナリ

〔第五百十二〕〔第三〕母ノ生存中父失踪シ其公告前ニ母

ノ死去スル事

此レ殆ント前者ト相混ス即チ母ノ生存中ハ之ニ其子ノ管督ヲ任シ又其死亡後ハ其最親ノ尊屬若クハ假ノ後見人ニ之ヲ任ス可シ但シ其死去ノ際父ノ失踪後曰ニ六個月ヲ閱ヘタレバ直チニ之ヲ任シ若シ未ダ閱ハサルキハ其閱ユルヲ待テ之ヲ任ス可シ

〔第五百十三〕〔第四〕失踪セシ夫又ハ婦ノ前婚ニ因テ舉

ケタル幼年ノ子ヲ遺留スル事第三百四十三條

此場合ニ於テハ父又ハ母ノ失踪シタル時ヨリ六個月ニ至ルニ方テ第四百四十二條ニ從ヒ最親ノ尊屬又ハ假ノ後見人ニ其子ノ管督ヲ任スヘシ是レ現存ノ配耦者ハ該兒ニ取り固ヨリ他人タルヲ以テナリ

ロムル 佛蘭西民法、覆義卷之二終

正誤

六十四 丁ノ十行 書房モハニノ誤

二十五 丁ノ五行 欄ハ欄ノ誤

七十五 丁ノ二行 註ハ註ノ誤

七十六 丁ノ五行 關ハ關ノ誤

八十一 丁ノ三行 在ノ下ヲチ脱ス

九十 丁ノ十行 聽ススハ衍

二

二百

丁ノ三行

讓ハ醸ノ誤

七

一百

丁ノ六行

料ハ科ノ誤

十二

二百

丁ノ七行

從ハ縱ノ誤

七十二

二百

丁ノ八行

記入モハセノ誤

四十三

百

丁ノ四行

船ハ泊ノ誤

三十六

百

丁ノ二行

戴ハ載ノ誤

三

三百

丁ノ三行

要ハ最ノ誤

四十二

百

丁ノ五行

アルルハ衍

六十

百

丁ノ七行

料ノ上思ヲ脱ス

十三

百

丁ノ九行

所ナハアノ誤

五十六

百

丁ノ一行

兵士ハ士ノ誤 以下之ニ倣フ

三十九百五 三十九百七 三十九百八 四十二百二

丁ノ八行
レハ衍

丁ノ九行
得ノ下ヘ。ヲ脱ス

丁ノ十行
支絡ハ給ノ誤

丁ノ九行
者ハ有ノ誤

四十三百四 十三百五 三十七百五 四十七百五

丁ノ一行
有ハ者ノ誤

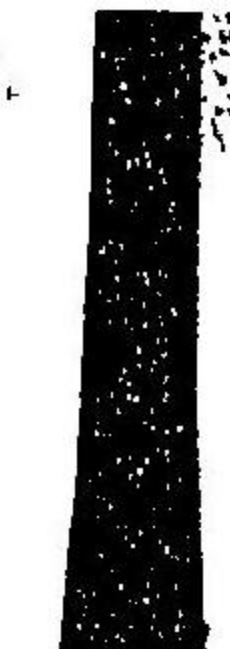
丁ノ七行
割注繼ハ續ノ誤

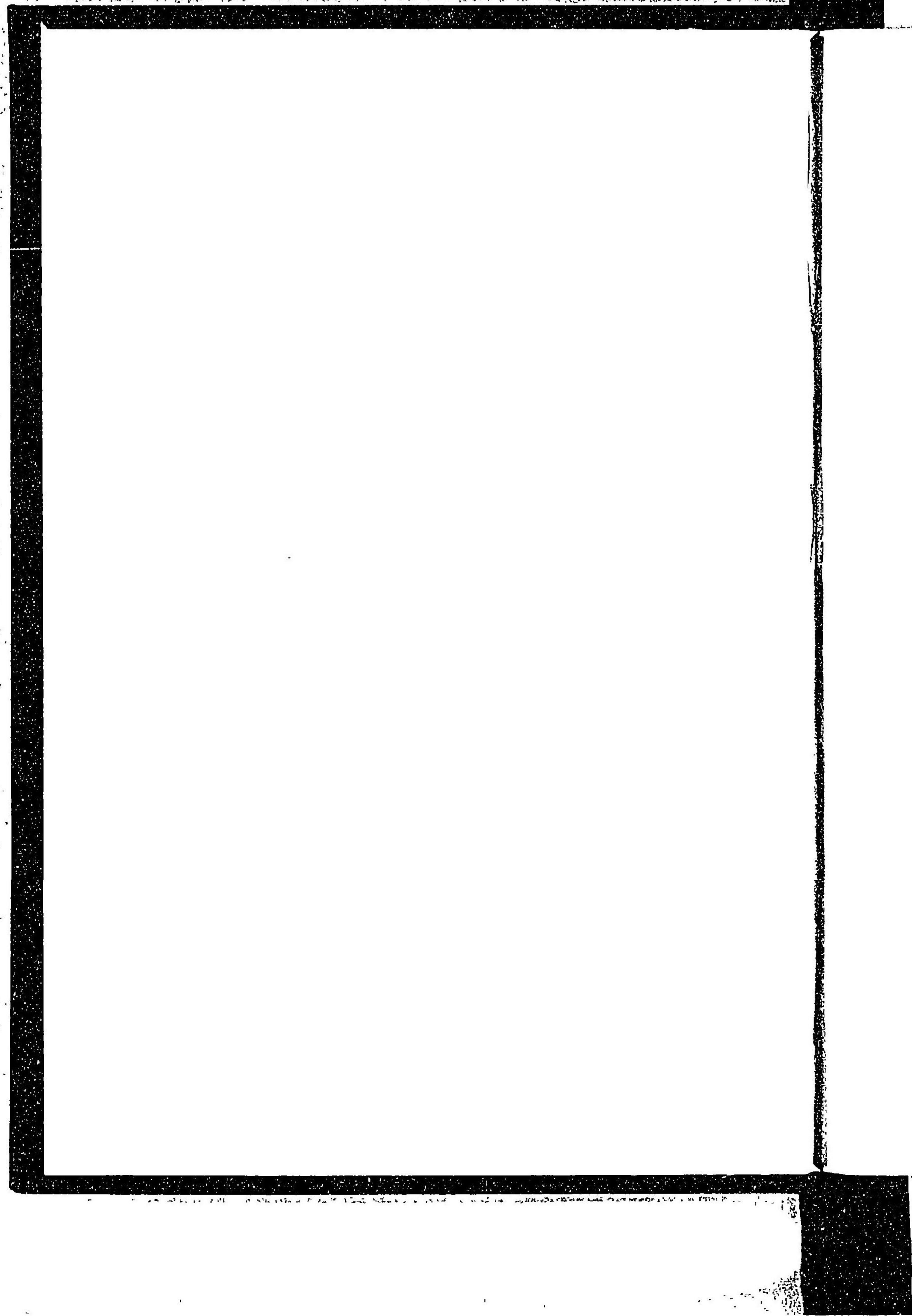
丁ノ四行
裁判上ノ上或ハノ二字ヲ脱ス

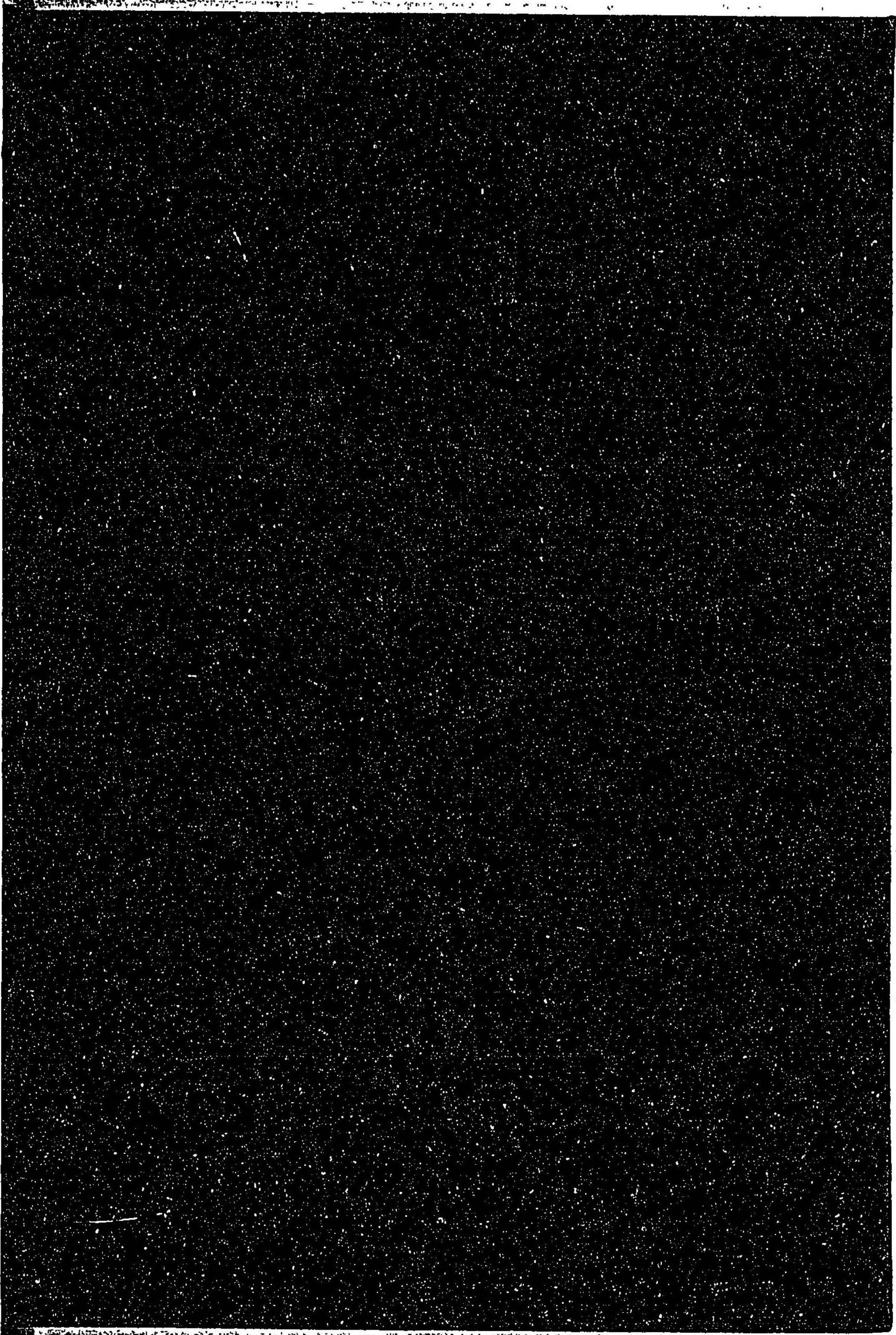
丁ノ九行
點ハ默ノ誤

#5 X 48

22







14.7
33

034480-001-6

14.7-33イ

仏蘭西民法覆義 第2-6卷

ムールロン/著

M11-14

BBL-1088



